

- 1 ケビン、あなたは毎週土曜日もう6ヶ月も本屋で働いています。
2 いくら稼ぎましたか。
3 700ドルです、お父さん。
4 あなたはたくさん稼ぎましたね。
5 ケビン、私は考えてきました。
6 私はあなたにもう700ドルあげます。
7 わあ、お父さん。ありがとう。
8 それで全部で1400ドルが僕のものになります。
9 これで僕はロンドンへのチケットを買うことができます。
10 大丈夫、アラン。
11 私はこの地理の宿題が理解できません。
12 私の英語はひどいです。
13 心配しないで、アラン。
14 私はすべてを理解するまでにアメリカに数ヶ月もいたわ。
15 本を見せて、手伝うわ。
16 ここ。
17 アラン。グリーンさんはこれを授業で説明したわ。
18 そこに居なかったの？
19 金曜日僕は学校に遅れたんだ。
20 僕が学校に着いたとき、もう地理の授業は終わっていたんだ。
21 先月ディズニーランドを楽しんだ？
22 はい。長い間曾木に行きたかったんです。
23 東京にもディズニーランドはありますよね。
24 はい、しかしここにあるものはウォルトディズニーの最初のテーマ
パークです。
25 東京に居る友達は彼女に何枚か写真を送ってくれと私に頼みま
26 私はそれらをプリントして手紙で彼女に送りました、しかし手紙は
戻ってきました。
27 なぜ？
28 彼女がくれた住所が間違っていたんだと思います。
29 私が高校にいた時、私は肉体的にも精神的にもつらい生活を
送っていました。
30 私の母は病気で私は彼女の世話しながら同時に学校にも通って
いました。
31 最終的に私も病気になりました。
32 私はなんとか高校を修了することができましたが、病気から回復
するために2年間家に居なければなりませんでした。
33 そのころ、私の友人たちはすでに大学で生活を楽しんでいました。
33 私はとてもみじめに感じました。
34 その二年間に私の考え方を変えた何人かの人に出会いました。
35 彼らはヴォランティアの人たちでした。
36 彼らは私が自分の悲しい気持ちを話したとき忍耐強く聞きました。

- 37 彼らの支えで私は肯定的に考えることを学びました。
38 その結果、私は自分の難しい状況を切り抜けて大学に入ることができました。
39 私は次第に健康を取り戻し大学での生活を楽しましました。
40 大学の後、私は茨城県で環境ガイドとして働き始めました、なぜなら環境保護に興味があったからです。
41 そこで5年間働いていたある日、上司がいました、「たぶん、君は日本に居るよりも外へ出て世界を見るべきだ。」
42 私はそれについて私の一人の友人に相談しました。
43 彼女は言いました、「私はあなたの上司に賛成です。あなたは海外青年協力隊のボランティアとしてうまくやれると確信します。」
44 私は彼らのアドバイスにとっても驚きましたが、それは私が大丈夫であることを証明する良い機会と思いました。」
45 再び健康になった後に私は私の人生を変える異なる挑戦をしたのです。
46 私は海外青年協力隊のボランティアになることは私の人生においてももっとも偉大な挑戦になるであろうと知っていました。
47 私は、他の国で2年間生き残り私は何でもできることを見つけるんだと思いました。
48 それで私はすぐに海外青年協力隊に応募しました。
49 2007年の1月、チリの北部の小さな村のフレイリーナに到着しました。
50 海外青年協力隊は私をそこに環境の仕事をするために送りました
51 最初に私が関心を持ったことはその村がとても汚いということでした。
52 ごみがどこにでもありました。
53 壁は落書きで覆われていました。
54 最初私は何をしたら良いかわかりませんでした。
55 しばらくして、私は地元の子供たちの協力で、ごみを拾い始め、落書きをきれいにし始めました。
56 最終的に大人達も私たちに加わりました。
57 私たちは村をきれいにするために、みんな一緒に働きました。
58 次に次にこともたちのためにアートコンテストを計画しました。
59 私は彼らに10年の時間のフレイリーナの絵を描くように言いました
60 最初彼らは何を描くべきかわかりませんでした。
61 しかし、次第に彼らは絵を描くようになりました。
62 私は彼らが描いた絵を見て幸せでした。
63 それらは清潔で美しい村の絵でした。
64 子供たちは絵を描くことを通して環境を守ることに興味を持つようになりました。
65 私は子供たちに使用済みの小麦粉の袋を家からもってくるようにも頼みました。
66 私たちはそれをリサイクルして買い物バッグを作ったのです。

- 67 子供たちはそれらにきれいな絵を描きました。
68 彼らはそれらを家に持っていき、家族にプレゼントとしてあげました
69 すぐに、村の人々は買い物に行くときにそのバッグを使い始めま
70 した。
71 このようにして、彼らは物をリサイクルしたり再利用することに興
72 味をもつようになりました。
73 フレイリーナの2年間で地元の人々の間に多くの友人を作りました
74 彼らは私の仕事を手伝ってくれて、折々にアドバイスをくれました。
75 私は人生においてもっとも重要なことは考えそして行動すること
76 だと見つけました。
77 もし、あなたがこれらの二つのことが得意なら、あなたは世界中
78 のどんな人ともコミュニケーションすることができます。
79 私はフレイリーナの村人を助けることができたでしょうか、ボラン
80 ティアワーカーとして、そして私の上司が私を助けたように？
81 私はわかりません。
82 しかし、次第に彼らは絵を描くようになりました。2009年の1月、私
83 がフレイリーナを去るときに一人の子供が私に言いました。
84 「私たちのことは心配しないで。私たちはあなたが私たちの村を
85 清潔にそして美しくするために始めたことを私たちは続けます。」
86 それを聞いて私はとても幸せでした。
87 少なくとも、私は人々に環境について考える機会を与えることが
88 できました。
89 私はこれからの年月で私の仕事の結果をみることを希望します。